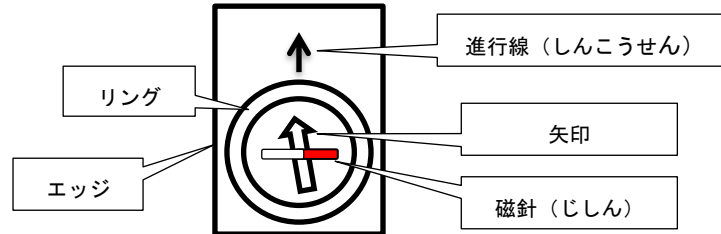


班長のヒント

<地図とコンパス>

○スカウトが使うコンパスは、一般の方位磁石とはちょっと違う



○説明がややこしいので、各部の名前を覚えよう

(地図の持ち方)

○普通は、たたんで（＝スカウトのたたみ方、知ってる？）しまっている

でも、たたんであると見にくいので、つい見るのをサボりがち（それで迷う…）

○そこで、最近の山ガールのトレンドを紹介！

☑地図の見たい部分を残して、見ない部分はうしろに折り込んでしまう

☑全体を A4 の大きさにととのえる

☑チャックのついたビニール袋（A4 用。大きな 100 円ショップで買える）に入れる

☑ビニール袋を 2 回・3 回折って、ポケットにしまう

○普通の地図だと、右胸ポケットにしまえない（かさばる）

だから、見たい部分を A4 にコピーして持っていくのがトレンドらしい

○ビニール袋に入っているのでも濡れても大丈夫

○油性ペン（細いもの。なまえペン）でビニールの上から書き込める

(コンパスの持ち方)

○胸の位置で持とう

○ベルトの位置で持たない（バックルの金属で磁針が狂います）

○常に進行線を前に向ける

○地図と一緒に右胸ポケットに入れると、サボらない

(整置をしよう)

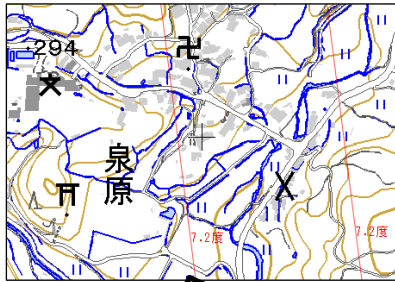
○自分の向いている方向と、地図の向きを合わせる（西に行こうと思っているなら、地図の左側を進行方向に向ける。車のカーナビと一緒に）

○コンパスを見て、自分の進行方向を 8 方位（北東とか）で判断する。まず、地図をその方向に向ける（北東だったら地図を 45 度左に回す…）と分かりやすいと思う

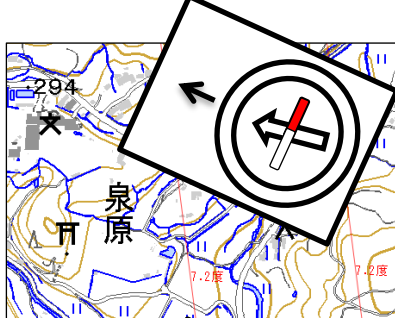
○これを整置（せいち）といいます

○なんでこんなことをするかって？

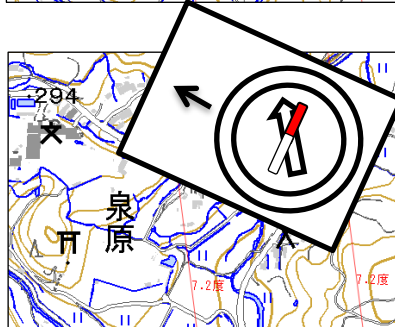
(どっちへ行けばいいんだ?)



- ①現在地を交番、目的地を小学校と考えます
(場所は泉原バス停付近です)



- ②エッジの手前を現在地に、エッジの先を目的地に向けます



- ③リングを回して、矢印と磁北線の向きを合わせます

- ④地図とコンパスをそのまま手に持って、身体をぐるっと回して矢印と磁針を重ねます

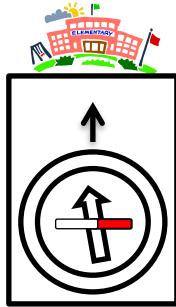
- ⑤すると、進行線が指す方向(=今、君の身体が向いている方向!)に目的地があります

(いわゆる落とし穴!)

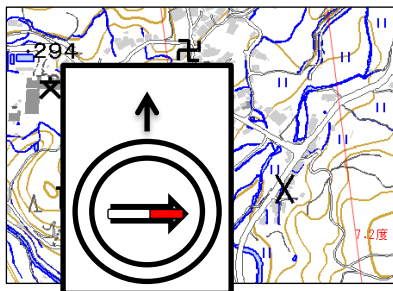
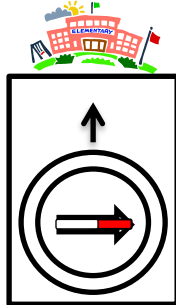
- コンパスは磁北(じほく)を指します。でも、地図の上は真北(しんほく)を示しています
×矢印を磁北に合わせないで、真北に合わせてしまう。確実に進行方向がずれます!コンパスを使うときは「磁北以外と仲良くしない!」という強い意志を持ちましょう。座標軸が引いてあるときは、結構はまりがちな落とし穴です
- 磁針の赤い方が磁北を指します。磁針の赤い方と矢印の先とを合わせます。
×磁針の白い方を矢印に合わせると…。180度違う方向を向いてしまいます。凡ミスで全員が遭難しないよう、2人以上でやってほしい
- 矢印は、磁北線の磁北に向けて合わせます
×磁北線に合わせたが、矢印が磁南を向いている。地図を回して整置していると、はまりがちなミスです

(どこにいるんだ?)

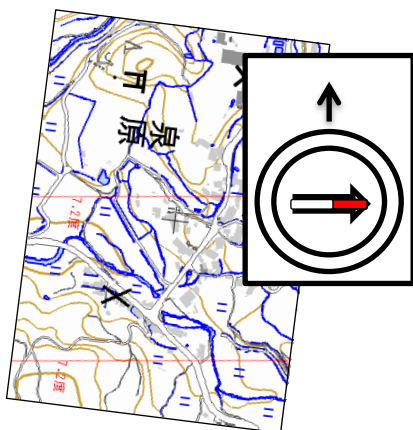
- ①まず目標物をさがします。ここでは小学校を発見したことにしましょう
- ②目標物に、コンパスの進行線向けます



- ③リングを回して、矢印と磁針を合わせます

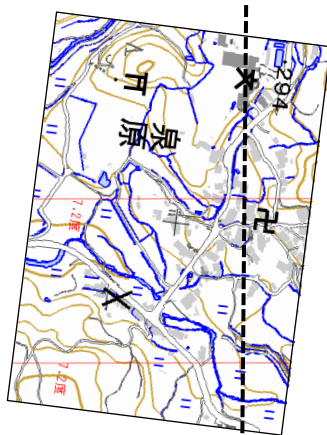


- ④地図を出します



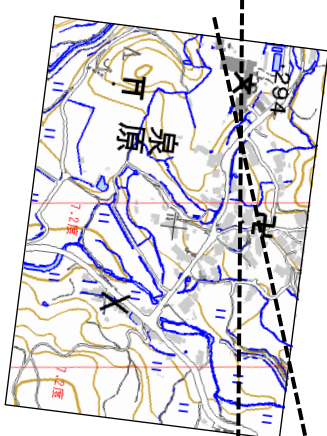
- ⑤エッジの左上を地図上の目標物に合わせます
- ⑥目標物とエッジ左上を支点にして地図を回します
- ⑦矢印を磁北線に合わせます
(このとき、磁針と矢印が重なっていてもよい!)

- ⑧エッジに沿って線を引きます



⑨君は、この線のどこかにいる！
 （でも、田んぼの中にはいないよね？）
 （道路にいとすれば…。推理してみよう）

⑨次に、別の目標物を探して、地図に別の線を引いてみよう
 ここでは、別の目標物「寺」を発見して、別の線を足してみました



⑨線が重なりました。君は線が交差（＝クロス）したところにいるはず！
 このように、コンパスで引いた線をクロスさせて現在位置を知る方法を「クロス・ベアリング」と言います（船舶の航海術の基本です！）

（素朴な疑問？）

○コンパスが示す方位角（磁北を 0 度、磁南を 180 度とする角度）を聞かれたけど、私のコンパスは 1 目盛が 5 度なんで、とても読みにくいんですけど…。と思ったことない？

○上の「どっちへ行くんか？」「どこにいるんだ？」で、方位角が全然出てこないことに気づいた？

○そうです！「行き先を知る」「現在地を知る」ために、地図とコンパスを使うときには、方位角が（とりあえず）いりません。何でかって？

☑実は、リングを回してコンパスの矢印と磁針とを合わせたときに、目的地や目標物に対する方位角がコンパスに記憶されているんです

☑だから、「自分だけが進路を見つける場合」「方向を班員が見て分かる場合」は、方位角を読む必要がない！

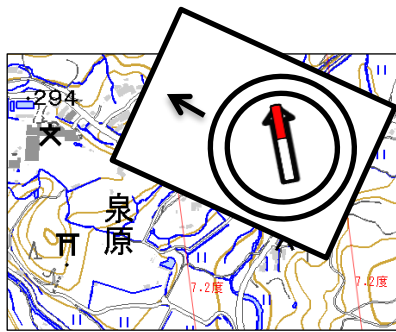
○では、何で方位角が必要か？それは「人に伝えるため」です

☑遅れてきた班員が「泉原バス停の交差点をどっちに曲がるの」と携帯電話で聞いてきました。

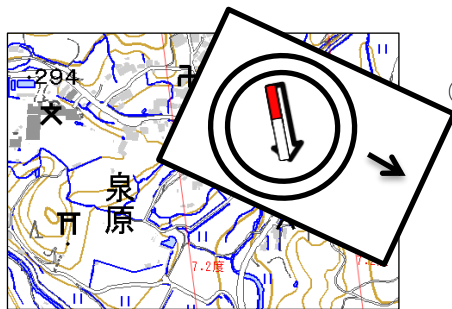
「左だ」「どっちに向いて左ですか？」「山のほうを向いて左だ」「周りは山だらけですが」「上に向いて左だ」「上って空のこと？」訳がわからない…

☑「コンパスで 280 度の方向だ」一発ですね

(元に戻ろう…)



①現在地は交番、目的地は小学校でしたね
途中で交番に戻りたくなったら…



②簡単！
磁針の白い方と矢印の先とが合うように体を回します
進行線が指す方向(=今、君の身体が向いている方向！)
が交番の方向ですね

③つまり、方位角で180度逆の方向に進むことになります
これを「バック・ベアリング」と言います